

日英投資関係

(「日英投資関係に関するファクトシート」関連資料)

平成24年4月

日英経済関係概要

英国→日本: EU加盟国の中で第4位の投資元(約 7,650億円)

日本→英国: EU内で第2位の投資先(約3兆938億円)

(EU→日本: 世界第1位の投資元(約6.7兆円))

(日本→EU: 世界第3位の投資元(約15兆円))

(ストックベース2,010年 出典: 日銀)

英国における日系企業(2010年)

日系企業数: 1,272社 (EU: 5,609社)

雇用者数: 132,532人 (EU: 446,111人)

日系企業による雇用者数

EU(合計) 446,111人

英国 132,532人

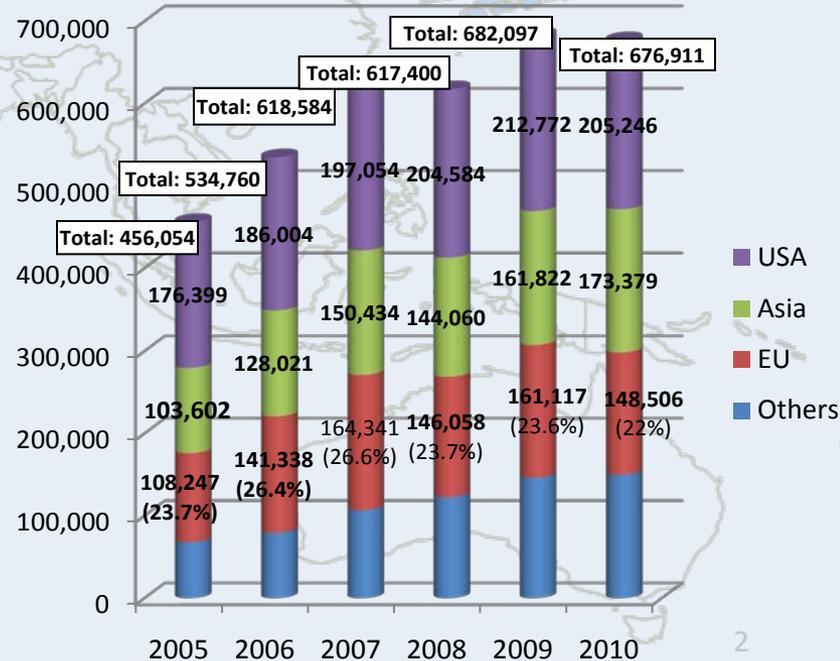
オランダ 89,551人

ドイツ 61,965人

ベルギー 29,612人

フランス 24,519人

日本の対外直接投資(ストックベース)



英国首脳・閣僚の日本の投資に関する最近の発言・動向

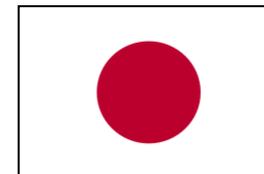
○ キャメロン首相

- ・ホンダの工場を視察し、従業員との対話集会で、英国経済の先行きを心配する従業員を激励。（昨年2月）
- ・「イングランド北東部で日産が200人、日立が500人の新規雇用を創出しているのは大きな価値である。」（昨年10月：雇用に関する議会答弁）
- ・トヨタの追加投資発表の際、トヨタのダービーシャー工場を視察。（昨年11月）
- ・「日産、ホンダ、トヨタのすべてが各地で事業拡大している。これは英国の製造業にとって良い知らせである。…北東イングランドで日産が2,000人の雇用を創出し、日立がダラムに新工場を建設しているという良い知らせを我々は称えるべきである。」（先月：製造業と雇用に関する議会答弁）

○ ケーブル ビジネス・イノベーション・技能(BIS)大臣

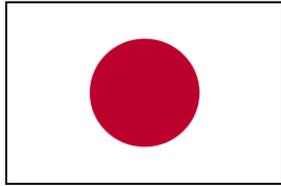
- ・「(震災後の)日本は完全に安全な国であり、ビジネスにとって良好な市場である。」（昨年6月：訪日時）
- ・「日産が新モデルの生産をサンダーランド工場を開始するというのは、素晴らしいニュースである。新投資は、日産の工場同様、幅広いサプライチェーン工場で新たな雇用を押し上げるものであり、この発表は、英国が対内直接投資を呼び込んできた実績を強めるものである。」（本年3月：ジュネーブモーターショー）

英国の日本に対する最近の投資等の例



- アラップ(エンジニアリング)
宮城県女川町の仮設住宅の建設において、日本の坂茂建築設計等と協力しつつ、仮設住宅の構造設計を担当。設計を基に昨年10月竣工。(昨年秋)
- ゴードン・マレー・デザイン(自動車設計関連)
東レとの間で、自動車の炭素繊維複合素材に関する研究開発のための業務提携に合意。(本年1月)
- インテリジェント・エナジー・リミテッド(燃料電池システム開発)
燃料電池の開発・製造を行うため、スズキと合弁会社を設立。(本年2月)
- グラクソ・スミスクライン(製薬)
ワクチン事業の戦略的業務連携を図るため、第一三共と共同出資会社を設立。(本年3月)

日本の英国に対する最近の投資等の例



- トヨタ
新世代ハッチバック生産のため、バーナストーン工場での追加投資を発表。（昨年11月）
➡ 1,500人の追加雇用
- ホンダ
新型シビックの生産をスウィンドン工場を開始。（昨年12月）
➡ 500人の追加雇用(2012年の生産台数を倍増させる予定)
- 日産
新型コンパクトカーの生産開始のため、サンダーランド工場での追加投資を発表。(先月)
➡ 400人(関連サプライチェーンを含めると2,000人)の追加雇用
- 三菱・パワーシステムズヨーロッパ(三菱重工業グループ)
洋上風力発電設備開発に関し、英国政府とMOU締結。その後、電力大手スコティッシュ・アンド・サザン・エナジー社(SSE)と協力合意をするとともに、油圧駆動技術で有名なアルテミス社を買収。
(2010年2月～)
- 日立レールウェイ・ヨーロッパ(日立グループ)
都市間高速鉄道プロジェクト(IEP: Intercity Express Programme)、2009年2月に優先交渉権を獲得(現在英運輸省と最終調整中; 事業規模45億ポンド、車両数約600両)。
また、北部ダラム州ニュートン・エイクリフに新車両工場を今後建設予定。
➡ 500人規模の雇用創出(新工場)